

車いすでの乗り込みを体験する太田国交相。宮園自動車車の担当者が案内、説明した（9日、羽田空港国際線ターミナル）



## 太田国交相 “画期的なバリフリ” 羽田でUDタクシーなど体験

太田昭宏国土交通相は9日、車いす用電動リフト付きバスやユニバーサルデザイン（UD）タクシーなど、羽田空港の新しいバリアフリー施設・車両を視察した。

荷物を運ぶロボットがお披露目され、車いすに乗った国交相はロボットと一緒にバスに乗り込み、昇降を試したり、UDタクシーの試乗でもスロープを確かめたりした。

同相はリフト付きバスと搬送ロボットの体験直後、「リフトには安定感があった。障害者や外国人観光客にとって荷物を持たずに移動できるのは相当助かると思う。画期的だ」と感想を述べた。「海外から来てまず降りるのは空港。世界最高水準と実感してもらえよう充実させたい。羽田でいろいろ先行事例をつくる」と意欲を見せた。

バスには現在、全国的にリフト付きは導入されておらず、2020年東京五輪・パラリンピックに向けた政策課題となっている。試乗は国内線第1ターミナルで行われ、神奈中観光（東京都町田市）が貸切バスのリフト車を提供した。

UDタクシーの体験乗車は国際線ターミナルであり、宮園自動車（中野区）の車両が使われ、杉並営業所の湊敏明教育課長が案内役を務めた。太田国交相は車体に張られたUDタクシーマークにも関心を示した。東京タクシーセンターの早戸和道常務理事が、14日運用開始のUDタクシー・ワゴンタクシー専用待機レーンを説明した。